

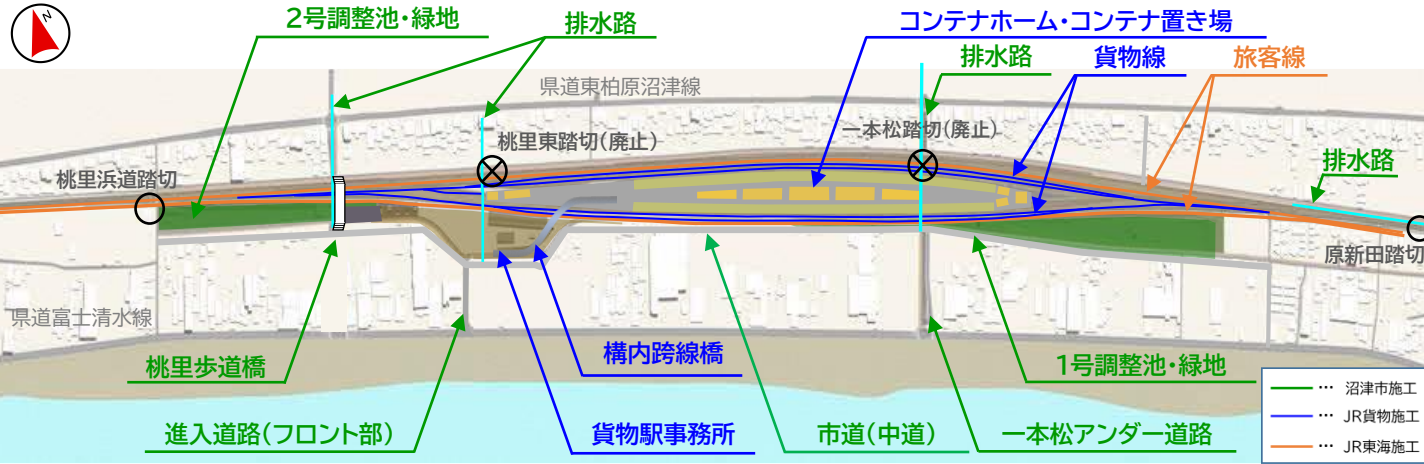
新貨物ターミナル通信



今号の一枚
「EF66型電気機関車」
昭和40年代から貨物
列車の高速化を担っ
た電気機関車。今年度
の親子見学バスツアー
で展示されました。

鉄道施設周辺整備も進行中！

昨年10月から新貨物ターミナルの本格的な鉄道施設工事を開始しました！
令和9年度末までに、様々な施設を整備していきます。



工事工程や交通規制などの最新情報は、
三地区の公会堂等に掲示するほか、沼津
土木事務所のHPでも公開しています。

沼津土木事務所HP

「新貨物ターミナル工事のお知らせ」
で検索して下さい。



広くて安全な道路を整備中



鋼矢板で土を留め、地面を掘る準備をしています

「一本松踏切」に代えて、広いアンダー
道路をつくるための工事を行っています。
安全な道路を目指して、整備を進めて
いきます。

地域の皆様の安全に配慮しながら
工事を行います。
完成までの間、ご不便をおかけ
しますが、ご理解・ご協力をお願い
します。



貨物鉄道フェスティバル in ららぽーと沼津 開催します!!!

日時 令和6年1月20日(土)、21日(日) 10時~16時(最終日は15時まで)
場所 ららぽーと沼津 ひかりの広場 他



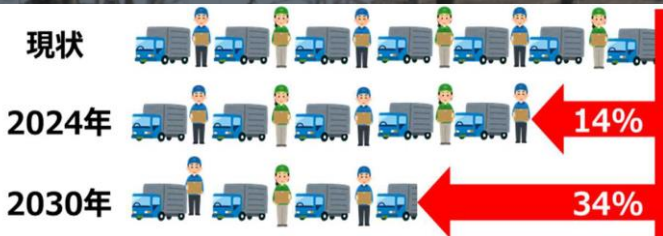
昨年の様子

シリーズ「鉄道貨物輸送」～②「物流の2024年問題」～

働き方改革により、2024年4月からトラックドライバーの時間外労働の上限規制が始まります。物流産業を魅力ある職場にするための取組ですが、一方で、輸送力が不足し物が運べなくなることが懸念されています。

鉄道、内航海運の輸送量・分担率を増強

10年程度
倍増



貨物列車は1本で10トントラック65台分の荷物を運べるため、ひとりの運転手でたくさんのトラックドライバーをカバーできる「効率的な輸送手段」と言えます。物流産業における「働き方改革」と「輸送力の確保」を両立する鉄道貨物輸送は、SDGsの「8 働きがいも経済成長も」の目標達成に貢献します。

8 働きがいも
経済成長も



国は、この「物流の2024年問題」への対応手段のひとつとして、「モデルシフトの推進」を掲げ、今後10年程度で鉄道・内航海運（船舶）の輸送量と輸送分担率を倍増することを目指しています。

原地区のまちづくり～沼川新放水路～



沼川新放水路整備状況 令和5年10月撮影



河川トンネル現場見学の様子

原地区では、大雨による浸水被害解消を目的とした「沼川新放水路（仮称）」の整備も進めています！

現場見学会を随時開催しておりますので是非ご参加ください！

静岡県沼津土木事務所都市計画課鉄道高架班

〒410-0055 沼津市高島本町1番3号

TEL: 055-920-2222・FAX: 055-926-5527

E-mail: numado-toshikei@pref.shizuoka.lg.jp

URL: <https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/>

ke-830/kouka/

沼津市沼津駅周辺整備部推進課

〒410-8601 沼津市御幸町16番1号

TEL: 055-934-4768・FAX: 055-934-2310

E-mail: suishin@city.numazu.lg.jp

URL: <https://www.city.numazu.shizuoka.jp/shisei/keikaku/station/index.htm>

shisei/keikaku/station/index.htm



Facebookページも
「沼津発→未来へ」



沼津のまちづくりの最新情報等を発信中です。
皆さんのいいねをお待ちしています！